

進や長井く白鷹間西廻り幹線道路の早期着工など、幹線道路網の整備促進に向けて取り組むとともに、国道348号の高規格化による再整備に向け、関係団体とともに、啓発や要望活動に取り組んでまいります。

町道維持・整備では、除雪機械の整備や除雪担い手の育成に取り組むとともに、危険な形状の交差点改良に向けた測量設計、道幅が狭く緊急車両の通行に支障をきたしている箇所改良を実施し、地域の安全確保と町民生活の安定に努めてまいります。

## 保健・医療 福祉の充実

高齢者福祉につきましても、地域が主体的に行う生活課題解決のための仕組みづくりへの支援を継続してまいります。

介護保険事業につきましては、住民主体の高齢者等の居場所づくり活動等の支援の継続や、医療と介護の連携等を通して、高齢者の社会参加の促進、自立支援・重度化防止、認知症予防等を推進し、助け合い・支え合いを基盤とした生活支援を充実させ、住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、よう包括的な支援・サービス提

供体制の構築を推進してまいります。

加えて、不足する介護人材の確保に取り組む事業所を支援し、サービス提供基盤の安定化を図ってまいります。

障がい者福祉につきましては、自立支援給付事業でのサービスの提供等を通して地域での生活を支援するとともに、すべての町民が障がいの有無に関わらず、ともに支え合いながら安心して暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け努力してまいります。

健康づくり事業につきましては、「自分の健康は自分で守る」意識の定着と、健康寿命の延伸を目指し、各種の取組を推進してまいります。特に、がん検診の受診率向上に向け、乳がん検診と子宮頸がん検診について、現在実施している集団検診に加え、個別に受診できる環境を整備してまいります。

感染症対策につきましては、定期予防接種や新型コロナウイルス感染症等への対応について、国の動向を確認しながら医療機関等のご協力をいただき取り組んでまいります。

本町医療の中核である町立病院におきましては、持続可能な運営

を目指す「白鷹町立病院経営強化プラン」を着実に進め、「地域住民から信頼される病院」の基本理念のもと、町民の皆様の安心安全を守ることを最大の使命として、良質な医療の提供に努めてまいります。

## 施策の柱「定住化」

### 良好な住環境 の確保

住宅施策では、定住促進・転出抑制対策として、子育て支援住宅及び若者定住促進住宅の整備に向けた実施設計に取り組み、良好な住宅環境の整備を行ってまいります。

空き家対策につきましては、令和4年度に実施した空き家実態調査の結果を踏まえ、建物の適正管理を所有者等に促すとともに、危険空き家等の解体に対し交付する助成費用の拡充を行い、危険空き家等の減少に向けた取組を促進してまいります。

### 新たな人の 流れの形成

移住交流につきましても、地方への新しい人の流れをつくるため、引き続き総合的な相談窓口の設置や、本町の特色や充実した移住支援策、保育料完全無償化をはじめとした、

手厚い子育て支援施策の積極的なPRを行ってまいります。

また、充実した各種支援策の情報提供に加え、住まい、働く場、子育て・教育環境の情報など、町で生活する具体的なイメージをSNSで発信することで、若者の転出抑制強化・地域定着につなげてまいります。併せて、国・県と連携した移住定住に対する経済的な支援制度等を活用し実施してまいります。

## 行財政改革の推進

行財政改革につきましては、第6次行財政改革大綱に基づく行動計画を着実に進めるとともに、第6次白鷹町総合計画に掲げる施策を効率的・効果的に実現するための組織・人づくりを進めてまいります。

以上、令和5年度の施政方針として、本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまには、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



活用した6次産業化を推進していくため、拠点施設の整備に向けた取組を引き続き進めてまいります。

## 林業の成長産業化

本町の森林の多くは本格的な利用期を迎えており、「白鷹町森林」とつながる暮らしビジョンに基づき、伐つて、使つて植え、そして育てる「緑の循環システム」の構築に向け、航空レーザ測量によるデジタ化や森林資源の把握等を進めてまいります。

また、機械化、省力化等による森林施業の低コスト化を図るため、新たな路網整備を行うなど、町の森林資源の活用と川上から川下までを網羅する森林・林業の再生に取り組んでまいります。

有害鳥獣の対策につきましては、被害の軽減に向け、地域及び関係機関との情報共有を図りながら、地域や生産者が一体となった取組を支援しつつ、置賜圏域による広域的な処理の方法を引き続き検討してまいります。

## 地域産業の

### 振興

本町の経済状況は、感染症や半導体不足の影響は和らいできてきているものの、

原材料高や燃料費高騰、電気料金の値上げにより、企業は厳しい経営環境におかれていると認識しております。引き続き、感染拡大防止と経済回復に、総力を挙げて取り組んでまいります。

企業立地及び設備投資に伴う雇用の創出に向け、産業団地造成の検討を進めるとともに、就労環境の改善や正社員化に向けた取組の支援を継続してまいります。

そのほか、買い物環境の充実に向け、移動販売の車輛購入に対する補助に加え、運営費補助の拡充を行い、買い物困難地域の解消及び見守りなどの福祉的な対応に取り組んでまいります。

また、ふるさと森林公園につきましても、新たな指定管理者による運営に向けて準備を進めるとともに、施設整備に関しては、基本構想の策定に向けた取組を進めてまいります。

「日本の紅をつくる町」として、生産を主とした取組を引き続き行い、稀有な紅花文化の伝承や、魅力ある観光資源として発信することで、地域活性化につなげてまいります。

## 施策の柱 「地域力」

### 安心して暮らせるまちづくり

近年、自然災害が激甚化・頻発化している

ことや、災害から得られた教訓、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに、専門的知見を有する「地域防災マネージャー」を配置するとともに、消防団員の確保及び活動の充実強化を図るため、出勤報酬の新設などによる、団員の処遇改善を進め、地域防災力の充実強化に取り組んでまいります。

また、引き続き、防災基盤として、有蓋貯水槽や消火栓などの消防施設の整備を進めつつ、新たに一斉情報配信システムの整備・活用等により、迅速な情報発信と安全に避難できる仕組みづくりを行ってまいります。

### 特性を生かした

#### それぞれ地域づくり

町民が主役の地域づくりをより一層実践

するため、各地区では、地域づくりの拠点であるコミュニティセンターを中心に、それぞれの特色を生かした取組が行われております。今後も、各コミュニティセンターを拠点とし、創意工夫が発揮されるよう、地域づくり推進交付金等

による支援や、分館整備への支援を行ってまいります。

また、国の制度を活用した集落支援員を新たに配置し、集落の維持・活性化に向けた取組を行うとともに、地域おこし協力隊においてはインターン制度を導入し、隊員の増員と活動の定着を図ってまいります。

### 持続可能な

#### 循環資源の利用

環境施策につきましては、

地球温暖化対策実行計画や現在策定中の第3次白鷹町環境基本計画、第2次白鷹町エネルギー計画に基づき、町民・事業所・町が一丸となり、自然環境との共生による持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。具体的には、ごみの減量化対策を継続して実施するとともに、再生可能エネルギーの活用を推進するため、太陽光発電設備や木質バイオマス燃焼機器の導入に対する助成を継続実施するほか、新たに省エネルギー対策として断熱性能等が高い住宅新築への支援を実施してまいります。

### 定住条件の

#### 充実

道路交通網の整備につきましては、引き続き、国道287号道路改良の推

